

令和5年度 西成区区政会議 第1回教育部会 会議録

1 開催日時 令和5年6月16日（金）15時から16時まで

2 開催場所 西成区役所 4階 4-6・8会議室

3 出席者の氏名

【区政会議委員】

甲斐田 安三（議長）、岡村 博之（副議長）、榎原 久美江（委員）

谷崎 信子（委員）、真鍋 洋子（委員）、山本 弥生（委員）

【市会議員】

辻 淳子（議員）、山口 悟朗（議員）

【西成区役所】

臣永 正廣（区長）、柏木 勇人（副区長）、森 浩一（保健福祉担当部長）、

三代 満（総務課長）、柏木 真里子（総合企画課長）、田中 登美子（市民協働課長）、

得能 邦彦（窓口サービス課長）、宇野 新之祐（子育て支援担当課長）、

西川 志保（区政推進担当課長代理）、

森田 崇（保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

（1）令和4年度西成区運営方針の自己評価について

5 議事内容

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 すいません、お待たせいたしました。

それではお時間になりましたので、ただいまから令和5年度西成区区政会議第1回教育部会を開催させていただきます。

本日、司会を担当させていただきます西成区役所保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理の森田と申します。

皆様におかれましては、何かと御多用のところ御出席を賜り誠にありがとうございます。

まず開会に先立ちまして、確認事項を何点か御説明申し上げます。

まず1点目についてです。部会定数の確認に関してなんですかけれども、本会議の委員定数は12名とさせていただいておりますので、現在6名の方が御出席いただいております。

開催要件を定めました区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項に規定しております定数の2分の1以上、つまり6名の委員の方に御出席いただいておりますことを確認させていただきまして、御報告をさせていただきます。

続きまして2点目でございます。部会の公開についてでございます。

本日、教育部会につきましては、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第6項に基づきまして、公開として開催させていただいておりますので、御理解賜りますようにお願いいたします。なお本日の議事録につきましては、お名前を含めまして区役所のホームページで公開させていただくこととなっております。そのため御発言いただく際には、なるべくゆっくりはつきりマイクを使ってお話しいただきますように、御協力をお願いしたいと思います。

3点目でございます。報道機関とあと傍聴の関係なんですけれども、本日、傍聴の方が1名、報道機関の方は来られていないという状況ですので、併せて御報告を申し上げたいと思います。

続きまして4点目にまいりまして、資料の確認をさせていただきたいと思います。

お手元、机上に置いております資料を御確認いただけたらと思います。

まず、レジュメといたしまして、上のほうに、「令和5年度西成区区政会議 第1回教育部会」と書かれているレジュメが一番上に置いております。

続きまして、委員の方の皆様と、あと区役所の職員の名前の書いた名簿があるかと思います。

続きまして3枚目ですけれども、「令和5年度西成区区政会議 開催予定」と書いて表になってるんですけれども、こちらの開催の予定の表がございます。なお、本日、6月の1回目の各部会というところになるんですけども、7月のところに、第2回の各部会と書かれているんですけども、第2回教育部会につきましては、7月4日の日に、今後の取組につきまして御意見をお聞きする予定となっております。その後、9月のところに全体会ということでお書きいただいているんですけども、各部会での意見ですとか御議論の報告を受けまして、9月に全体会の開催を予定しております。

続きまして、また資料の確認に戻らせていただきまして、次のページに、ちょっと横長になるんですけれども、資料1-1と書かれている資料で「令和4年度 西成区運営方針自己評価 一覧」と書いている紙が一枚物であります。

続きまして、1枚めくっていただいて、資料1-2と書かれている、こちらも横長の資料になるんですけれども、「令和4年度西成区運営方針自己評価説明用資料」と書かれている資料がございます。こちら、両面になってまして4枚あるような形となっております。

続きまして、また横長の資料になるんですけれども、参考資料といたしまして令和4年度の第3回の全体会で、ありました委員の皆様からの御意見、御質問と区の考え方を書きました資料をつけております。そちらが3ページ分になります、2枚あるとかと思います。こちらの内容につきましては、令和4年度の第3回の全体会におきまして、委員の皆様からいただきました御意見、御質問につきまして、区の考え方、回答を記載しております。同じ内容を区役所のホームページにも掲載させていただいております。こちらにつきましては、御紹介のみとさせていただきますので、また後ほどお読みいただきますようにお願いしたいと思います。

続きまして、最後、「意見票」と書かれてる、こちら縦長の紙になるんですけども1枚あります、本会議において発言できなかったことですか、何かまた思い出したことで御意見、御質問がありましたら御記入いただけたらと思います。

続きまして、区政会議のテーマについて第2回教育部会と書かれている紙があります、また内容につきましては、後ほど御説明をさせていただきたいと思います。

続いて、右上に6月16日という日付があります、令和5年度西成区区政会議第2回教育部会の開催について御案内と書かれている分になります、第2回目の会議の御案内となっております。こちら7月4日の予定とあるんですけれども、こちらにつきましても後ほど御説明をさせていただきたいと思います。

確認は以上となるんですけども、不備等はございませんでしょうか。もしありましたら挙手いただけたらと思うんですけども。

よろしいでしょうか。

確認事項は以上でございます。

それでは開会にあたりまして、臣永区長から御挨拶申し上げます。

【臣永区長】 皆さん、改めましてこんにちは。

本日は、区政会議の教育部会ということで、委員の皆様、また区選出の市会議員の皆様、また傍聴の皆様、御参加いただきまして本当にありがとうございます。

この会議は、区民の皆様方との協働による区政運営の実現に向けて設置した区政会議の部会として、教育というテーマに絞りまして、より効率的で効果的な議論を行うことを目的として設置しております。したがって教育がメインとなります、委員の皆様には、教育のみならず教育以外のこども関連事業についても御意見を頂戴したいと考えております。

本日は、昨年度の振り返りとして、令和4年度運営方針の自己評価の説明を行います。いただいた御意見を基に、今後の事業実施にいかしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。特に西成区の教育の振興に係る事業につきましては、保護者、区民やその他関係者の皆様の御意見を反映していくことが、本部会での趣旨でございますので、限られた時間ではありますが、忌憚のない御意見を頂戴したいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 ありがとうございます。

それでは続きまして、委員の方々の御紹介をさせていただきたいと思います。

まずは、区政会議の委員の皆様から本部会に参加いただいている委員につきまして50音順で御紹介させていただきたいと思います。

また名簿を御参照いただけたらと思います。

まず、有馬委員につきましては、本日、所用により欠席ということで伺っております。

伊藤委員につきましても、同様に欠席されております。

上田委員も御欠席されております。

続きまして岡村委員でございます。

【岡村委員】 P T A の岡村です。よろしくお願ひします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 続きまして、甲斐田委員でございます。

【甲斐田委員】 甲斐田です。よろしくお願ひします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 続きまして河嶺委員も御欠席ということで承っております。

続きまして榎原委員でございます。

【榎原委員】 榎原です。よろしくお願ひします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 続きまして谷崎委員でございます。

【谷崎委員】 谷崎です。よろしくお願ひします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 続きまして西田委員は御欠席されております。

松本委員も御欠席のほうされております。

続きまして、真鍋委員でございます。

【真鍋委員】 真鍋と申します。よろしくお願ひいたします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 続きまして山本委員でございます。

【山本委員】 山本です。よろしくお願ひします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 委員の皆様につきましては以上となります。続きまして、本日、御出席いただいている市会議員の先生方を御紹介させていただきたいと思います。

まず、辻市会議員でございます。

【辻市会議員】 こんにちは。辻です。よろしくお願ひいたします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 続きまして、山口市会議員でございます。

【山口市会議員】 山口です。よろしくお願ひいたします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 次に、区役所職員でございますけれども、職員につきましては配付しております名簿に記載させていただいておりますので、御確認いただきますようにお願いしたいと思います。

参加者の紹介は以上となります。

それでは、以降の議事進行につきましては、甲斐田議長にお任せしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

【甲斐田議長】 よろしくお願ひします。

議長の甲斐田です。昨年度に引き続きよろしくお願ひします。

それでは、早速、進めさせていただきたいと思います。お手元の次第に沿って進めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

1つ目の案件で、令和4年度西成区運営方針の自己評価について、区役所よりお願ひいたします。

【宇野子育て支援担当課長】 子育て支援担当課長、宇野でございます。

私から、令和4年度西成区運営方針の自己評価について御説明させていただきます。座つて説明させていただきます。

まず、資料、横長の7ページと打っておりますが、資料1－1を御覧いただきたいと思います。

今回、教育部会で取り扱う内容につきましては、具体的取組のところで網かけをしている部分になりますが、全部で5事業ということになります。

プレーパーク事業と障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業、西成区基礎学力アップ事業、いわゆる西成まなび塾でございます。それと基礎学力向上支援事業、いわゆる西成ジャガピースクールでございます。それと西成区こども生活・まなびサポート事業でございます。

結果につきましては、後ほど詳細の説明をいたしますが、目標につきましては未達成が2つ、達成が3つということでございます。

それでは、令和4年度の各事業の自己評価について御説明いたします。

資料1－2を御覧いただきたいと思います。資料1－2の、さらに1枚めくつけていただきまして、まずは1－1－1、プレーパーク事業でございます。こちらは、スライドに映しておりますので、内容を御確認いただきたいと思います。

プレーパークにつきましては、子どもの生きる力を育む居場所といたしまして、子どもがやりたい、遊びたいことを自由にできる冒険遊び場として実施をしているところでございます。

令和4年度につきましては、4月から令和5年の3月まで88日間開催いたしまして、合計来場者数1万307人、1日平均の来場者数が117人でございます。その内訳でございますが、もと津守小学校・幼稚園での開催が合計76日、合計来場者数は8,904人、1日平均来場者数が117人でございます。出張開催につきましては、こちらに書いてありますように、もと今宮小学校で8日間、南津守中央公園で1日、西成公園で1日、晴明丘中央公園で1日、天下茶屋ふれあい広場で1日ということで、合計12日、来場者数が1,403人、こちらも1日平均来場者数が約117人ということでございました。

今回、目標が未達成ということでございまして、スライドにも映させていただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴いまして、いわゆる幼稚園舎のたまり場、学び場として使用してきたところが閉鎖されていましたり、屋外におきましても夏場に好評であったタイヤプールを中止したりということで、来場者数の増加につながらなかったという部分がございます。

課題と改善策につきましては、やはりさらに来場者数を増やしていく取組が必要であると考えております。

区内の巡回型の開催日の日数、開催場所を増やすことで、区内全域での認知度を高め、さらなる参加者数の増加につなげてまいりたいと思っております。そして、新規来場者の獲得

に向けて、子どもの学習意欲・関心を積極的に刺激するイベントも開催してまいりたいと考えております。

スライドには、プレーパークでアンケートも出していただいておりまして、来場者アンケートにおける区の子育て環境に関する項目では、肯定的な回答が88%ということで、非常に高いということで、プレーパークの認知度を高めていく必要があるというふうに考えております。

それとちょっと本日資料はございませんが、ホームページにも載せさせていただいている内容でございまして、御説明させていただきたいと思います。

今現在、主な開催場所でございますもと津守小学校、こちらのほうに、今、運動場の一部に不良箇所が見つかりまして、調査を行ったところ、土壌内部に空洞を確認したところでございます。利用者の安全確保のため、6月11日の日曜日から、もと津守小学校・幼稚園でのプレーパークの開催を現在中止しているところでございます。もと津守小学校・幼稚園以外、先ほど言いましたように巡回方式でやっているところとかですね、そういったところにつきましては、引き続き実施しているところでございます。

スライドのほう、先ほど説明したところでございますが、新規来場者の獲得に向けて、子どもの学習意欲・関心を積極的に刺激するイベントということですけれども、具体的な取組として、昨年度は、むしむし探検隊、これは大阪市立自然史博物館友の会の評議員の方に来ていただきまして、プレーパーク内でのいろいろな虫を発見したり、虫はこういう種類の虫ですよというようなことを説明したり、実際に子どもたちが取れるような体験をしたところでございます。

そして、もう一つ、プロの道具を使って、みんなで看板を作ろうという、大阪府中小企業家同友会の西成住之江支部と共に催してのイベントと、こういったことを開催いたしまして、子どもの学習意欲・関心を積極的に刺激するイベントを実施して、認知度を高めてまいりたいというふうに考えております。

すいません、ちょっと説明が前後して申し訳ございませんでした。

続きまして、具体的取組1-1-2でございます。

「障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業」でございます。

こちらのほうの事業は、精神疾患とか知的障がいがある子ども、または親を支援機関等につなぐことによって虐待防止を図る事業でございます。目標につきましては、事業対象者に対して、状況の確認及びアウトリーチの上、支援機関等へのつなぎ等を行っていくということで、目標値が3年間で100%ということでございます。

今回、この事業の対象者数499世帯の内、必要な支援につながっている状況が確認できた世帯及びアウトリーチを行い支援機関等につなぎ等ができた世帯につきましては、499件、100%ということで達成しているところでございます。

ちょっと前後しますが、対象者につきましては、障がい等の手帳を取得した者約5,000人のうち18歳までの子どもを含む世帯、これが合計499世帯ということでございまして、全件、

つなぐことができたということでございます。

具体的な内容でございます。家庭訪問や相談支援ということで、支援機関につながっているかの状況確認を行いまして、アウトリーチにより支援機関等へのつなぎ等ができたということです。

そのほか、障がいのある子どもさんの親御さんを対象にした連続講座、これは、令和4年度申込実績は7人ということで、こういったことを開催したり、保育所等送迎支援、こちらのほうは令和4年度で支援回数249回。そして言語聴覚士による専門相談、これも令和4年度実績は34人、相談回数は延べで50回です。それと助産師による専門的家庭訪問支援、これは令和4年度の実績は15人。こういう形での事業実施をしてまいりましたところでございます。

続きまして具体的取組1－2－1、西成区基礎学力アップ事業、西成まなび塾でございます。

こちらのほうは、中学校や老人憩いの家等の公共施設、区内3か所で実施しております、区内中学生を対象に塾等の事業者による課外授業を実施している事業でございます。

参加登録者数につきましては、3つ会場がございますが、鶴見橋中学校での参加者が23名、たちばな会館の参加者が23名、玉出老人憩いの家の参加者が26名で、合計72名でございました。

こちらの事業の目標でございます。参加者へのアンケートで、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を測る項目についての肯定的な意見、目標値が70%以上ということでございまして、結果につきましては、学力が上がったと答えた生徒が70%、勉強の仕方が分かってきたと答えた生徒が70%ということで、ちょうど目標値を達成したという状況でございます。

こちらの、スライドのほうには、まなび塾の様子のほう、これは地域の会館等を使っているところの写真でございます。こういった形で開催をしております。

課題と改善策でございますが、事業目標は達成しているところでございます。そして、今後ということでございますが、中学校の学習内容の基礎となる部分の小学校までの学習内容定着に向けた取組も必要であると考えております。本市の習い事・塾代助成事業、こちらのほうが小学校5・6年生にも対象が拡大されるということもございますので、スライドの下にも書いておりますが、新たに小学生5・6年生向けにも事業を実施してまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、具体的取組の1－2－2でございます。基礎学力向上支援事業、西成ジャガピースクールでございます。

この事業のほうは、区内小学校全10校で、小学校3・4年生につきましては、夏休み、冬休みや平日の放課後に合計45時間、小学校5・6年生につきましては夏休みに合計10時間を実施しているところでございます。国語と算数を中心に課外学習を行ったところでございます。

3・4年生につきましては、計255名が参加しております、5・6年生につきましては

計154名が参加しております。

こちらの事業の目標でございます。目標につきましては、授業初回と最終回にテストを実施しまして、点数が上昇する児童の割合、この目標値が70%以上でございます。テストを受験したうちの約74%が成績上昇したという結果でございまして、目標は達成しております。

課題と改善策につきましては、事業の目標値、こちらのほうは達成しております。

学力に課題のある児童など、対象者の参加をさらに増やすために、今年度でありますが、今後は募集時期に体験会を実施するなど周知を強化していくところでございます。また、児童の学力に合わせた支援を行うために、児童の習熟度に合わせた教材や指導員の配置も行ってまいりたいと考えております。

先ほどお話途中にありましたが、このスライドの下に書いてありますように、まなび塾につきましては、区内の中学校や地域会館での学習支援、ジャガピースクールにつきましては、区内、全10小学校での会場といたしまして、少人数指導の学習支援を実施しているというところでございます。

続きまして具体的取組1－2－3でございます。西成区こども生活・まなびサポート事業でございます。

こちらのほうは、こども生活・まなびサポーター、こちらのサポーターを区内全小中学校に1名ずつ配置をしております。児童生徒や学校の実情に合わせて、登校支援などの寄り添い支援を行っております。

支援実績についてでございますが、例えば電話連絡をしたり、家庭訪問をしたりということでの登校支援、これが合計3,150件、内数でいいますと、電話が1,075件、家庭訪問2,075件ということでございます。

不登校遅刻の未然防止・登校後の支援というのは、合計で2万2,174件でございます。

こちらの目標につきまして、学びの場への定着を目的といたしまして、遅刻者数や不登校在籍率の改善を図るところでございまして、目標値につきましては、大阪市平均に近づけるということでございます。

米印にも書かせていただいておりますが、不登校の在籍率の大坂市平均というのは、現在集計中でございまして、数字は未確定ということでございまして、この達成状況につきましては、遅刻者数・不登校者数の絶対数の増減で判断をさせていただいております。

結果でございますが、遅刻者数は増加しております。不登校者数につきましては、市平均を上回った昨年度より微増ということで、未達成ということでございます。

課題と改善策でございますが、現在、全国的に不登校者数が増加傾向にございまして、西成区におきましても、遅刻者数、不登校者数ともに増加している状況でございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限の長期化により、児童生徒の心理的不安が増大したことなども考えられます。アフターコロナにおける生活様式の変化を踏まえながら、家庭訪問などにより丁寧な支援を進めてまいりたいと考えております。

それと、幼稚園・保育所と小学校のギャップなどから学習姿勢が身についていない低学年

児童へのきめ細やかな支援といった予防的な取組も、今年度につきましては行っていこうということで考えております。

続きまして、資料7ページ、右下に7と、横には15ページと書いておりますが、自己評価のまとめでございます。

こちらのほうは、今までのお話をまとめておりますが、プレーパーク事業につきましては、指標に僅かに届かなかったものの、1日当たりの来場者数が昨年度を上回っている状況でございます。先ほどもお示しさせていただきましたように、アンケート結果等の来場者からの評価は高く、今後は新たな利用者を増やすとともに、より満足度を高めるような取組を進めてまいりたいと考えております。

障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業につきましては、当初の目的を達成しましたので、今後はつながり先への定着支援を行ってまいりたいと考えております。

中学生を対象にした西成まなび塾、小学生を対象にした西成ジャガピースクールでは、こども達の学力向上や勉強時間の増加等、前年度から一定の水準を維持しつつ推移している状況でございます。今後は、学力に課題のある児童などの対象者の参加をさらに増やすため周知を強化してまいりたいと考えています。

西成区こども生活・まなびサポート事業につきましては、コロナウイルス感染症拡大の影響等により、全国と同様に不登校者数が増加傾向にあります、絶対数で判断させていただきましたが、目標を下回っている状況でございます。今後はアフターコロナにおける生活様式の変化を踏まえつつ、丁寧な支援を進めるとともに、学習姿勢が身についていない低学年児童へのきめ細やかな支援を行うといった予防的な取組にも着手してまいりたいと考えております。

引き続き、子ども自身が課題や困難を乗り越える生きる力を育む居場所づくりや、子ども達の学習習慣の定着と学力向上に取り組むことで、子育て環境の充実を図ってまいりたいというふうに考えております。

令和4年度西成区運営方針の自己評価につきましては、以上でございます。

【甲斐田議長】 今の御説明に、皆さん、御意見ございませんでしょうか。

【岡村委員】 P T Aの岡村です。よろしくお願いします。

プレーパークにつきまして、校庭にちょっと不備があるということで、2か月ほど休まれる、中止にされるということですけれども、こちらのほうは、結局、6月、7月ということで、夏休みに間に合うのかというのを考えてるんですけども、これ中止になった回数というのは、どういう形で補うのか、もうそのまま中止になるのか、というのを伺いたいのと、それからちょっと今日は聞けなかつたんですけど、8月は中学校を借りてやるみたいなことを聞いたんですけども、それについて、何か御説明いただければなというふうに思います。

それから今回、結局、津守を離れて、出張プレーパークを強化する、そういう形を取ることで、認知度を高めるという目的なので、来場者数もそんなに増えないのかなというふうに思ったんですけども、この資料を見せていただいて、しっかりと人が集まってるのを

見て、すごく喜んでいるんですけども。

今回、予算を増やす、出張を増やすがために予算を増やすということなんんですけども、それってやっぱり出張すると、津守でやるのに比べてどこにどれだけお金がかかるかというのを、ちょっと分かれば教えてください。よろしくお願ひします。

【宇野子育て支援担当課長】 すいません。まず、もと津守小学校のグラウンド部分の不備ということでございますが、今のところ6月、7月の中止ということで発表させていただいております。現在、私どもといたしましても、やはり安全第一ということを考えておりますので、それが確認できるまでの間の開催というのは、難しいと思っております。

現在、関係局にも確認しているところでございますが、現時点では原因というのがまだ不明な状況でございます。そういう状況ですので、今、見込みというものが立てられない状況でございまして、確認できない場合につきましては、例えば出張開催の増加、もしくは別の場所での開催、こういったところの検討も必要であるかなというふうに考えております。

ちょっと先ほどお話をございました出張開催ということで、例えば公園での開催もありますし、今年度新たに中学校での開催ということでございまして、いわゆる生きた学校を使いまして、そういう設備を使ってということで、まだちょっと具体的にどういうものができるかというのはいろいろ、検討しているところでございますが、いろいろ部屋等を使うことも可能かなと思っております。例えば先ほどの課題と改善策のところでも御説明いたしましたような、学習意欲や関心を積極的に刺激するイベントとかですね。プレーパークの利用者が、乳幼児、小学生が多いので、何か中学生と交流ができないのかとか、そういうことも考えております。

やっぱり出張開催を増やすことにおける経費の増ということでございますが、やはり一番多くなってくるのは、物資等を搬送するための費用というところで、こういったところは大きいかなというふうには考えております。

以上でございます。

【甲斐田議長】 ほかに御意見、御質問ありませんでしょうか。

【岡村委員】 続きまして、障がいのある子どもや親の孤立防止支援事業につきましてですけれども、これちょっと私本当に、人から聞いた話で、事実を確認できてないので、もう本当に恐縮なんですけども、こちら、アウトリーチを行って支援機関につなぐことができたというふうにおっしゃってたんですけども、区役所として、事実をしっかりと調査できていないじゃないかと。右から左に流してるだけで、渡した後も、結局、その後の調査もなしにフォローもなしというふうな話をよく耳にします。本当に事実かどうか分からないで恐縮なんですけども。それについて説明していただくことはできますでしょうか。

【宇野子育て支援担当課長】 その右から左というお話を何とも答えようがないですけども、私どもといたしまして、取りあえず今回、全件、つなぐことができたということでございますが、当然ながら継続的なつながり先を確保しているという部分もありますので、継続的な対応もありますし、これから新規で出てくる方等も当然、手帳を発行してという方もい

らっしゃると思いますので、そういったとこの対応というのは引き続き実施してまいりたいというふうに考えております。逆にちょっと放ったらかしになっている具体例というのは、私どもとしては、今のところ把握がしていないことではございます。

【岡村委員】 結局、これやつたらこっち、これやつたらあっちみたいな感じで振り分けられるだけで、実際のところは、どういうことが行われて、どういうところにというのが、そういう調査をされてないとか、あるいは渡したら渡しっぱなしで、頼んだ人が、あれどうなりましたかって区役所に聞いても、区役所さんはあれはもう向こうに渡したんで、こちらではさっぱり分かりませんみたいな感じで、不満だという話を聞いたことがあります。

【宇野子育て支援担当課長】 いずれにいたしましても、つながり先を紹介するというのはもちろん大事なんですけども、自己評価のまとめにも書かせていただいておりますけども、これが定着するように支援をしていくというのが非常に大事であると認識しておりますので、ちょっとそういった事例もあるというのは、お話がございましたので、しっかりと定着できるような形で事業を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

【岡村委員】 何度も申し訳ございません。子どもの生活・まなびサポート事業ということで、不登校者数や遅刻者が増加して市の平均を上回ったということで、実は、大阪府は全国でもやっぱり不登校が確実に多いと。その中でも西成区はそれの平均よりも高いところで、本当にこれはナイーブな問題でして、市のP T Aとしても本当にどうしたものかというふうに思っております。なかなか引っ張っていくということは難しいと思いますし、本当に難しい問題なので、ぜひぜひ、ここに書いてあった皆さん、西成区何してんねんと思はるかもしれないんですけども、本当にこれは難しい問題ですので、ここはもうしっかりと辛抱強くというか、しっかりとやっていただければというふうに思います。よろしくお願ひします。

【甲斐田議長】 よろしいですか。

【岡村委員】 はい。

【甲斐田議長】 ほかにご意見ございませんか。

よろしいですか。

では、区のほうから何かありますか。

【宇野子育て支援担当課長】 では、よろしいでしょうか。

引き続き私のほうからお話をさせていただきたいと思います。

先ほど、司会のほうからも説明ございました次の区政会議についてでございますが、2回目の教育部会につきましては、7月4日に開催する予定でございます。

お配りしている資料の区政会議の議論のテーマについて（第2回教育部会）と書いております、こちらのほうを御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、昨年度アンケートによって議題を決定し、昨年度につきましては、子育て環境について御議論をいただきました。今年度につきましては、昨年度のアンケートで子育て環境に次いで、票数が多かった教育環境について今後の取組に向けて皆様から御

意見をお聞きしたいと考えております。

こちらのほうが、ちょっと具体例も書かせていただいておりますが、例といたしまして、先ほどのこども生活・まなびサポート事業にもございました不登校児童生徒の支援についてとか、あとこどもたちが夢や目標を持つような、将来に向けて自立を促すための、キャリア教育、もしくは子どもたちが本に触れたり興味持ったりするきっかけづくりという読書活動、こういったことなどが一例に挙げられるかなというふうに思っております。

私のほうからは以上でございます。

【甲斐田議長】 では、本日お越しの市会議員の方から、一言賜りたいと思います。よろしくお願ひします。

【辻市会議員】 皆様、御苦労さまでございます。本当、先ほどの不登校のお話もありましたけど、市のほうもいろいろ考えていますが、なかなか難しい問題です。私たち、ちょっと議員として思うのは、いろんなこどもたちが今いる中で、学校の勉強だけじゃなくともっといろんな経験をさせてあげることというのが学校でできればなというふうに思っています。今日、甲斐田さん、産業会で来ていただいて、先ほども産業会の結びつきと子ども達のプレーパークの中でお話ありましたけども、そういったことだと、音楽であったり、音楽家なんかも結構いらっしゃるので、そういったとこの結びつきを時間と、それと費用がありますから、もう少し何かできればいいなというふうに思って見ております。

いろんな課題がありますけれども、よろしくお願ひいたします。私たちも考えます。

【山口市会議員】 本日は大変ありがとうございました。

先日、人口問題研究所で、日本の人口が2070年には8,700万人というふうに、今から3割減というような話を聞きいたしました。今、こどもたち取り巻く環境も生成A I、C h a t G P Tというようなものが出来まして、本当に環境自体も大きく変わっていく中で、やっぱりこどもをど真ん中に据えて、地域と、あるいは行政が真ん中に据えて何ができるのかというようなところを考えていかなくちゃいけないかなというふうに思います。

先ほどもありました不登校の問題、学力だけではないかと思うんですけども、こどもたちはやはり周りから支えていくのが改めて大事だというふうに思っております。

また、皆様のお力を借りしながら、こどもたちの教育のほう携わっていきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひいたします。

本日はありがとうございました。

【甲斐田議長】 どうもありがとうございました。貴重な御意見を賜りまして、ありがとうございました。

【岡村委員】 申し訳ございません。先ほど、自己評価について以外のことございましたが、実は、他区で、西成区以外の区で、ちょっと評判の良くない給食業者がございました、そちらの業者さんがこの夏休み明け、西成区の学校にも入ってくると決まったみたいでして、いろいろ情報も、いろいろ言いにくいこともあって上手に言う言わないんですけども、入札でぎりぎりのところで入ってきて、子どもが置かれている環境が良くないという、そういう状

況で他区でもありましたように、ちょっと大阪市のPTA協議会としても、本当に問題だなと言ってるんですけども。そういう情報というのは、あまり言いにくいのかもしれませんけど、入ってるのかどうか、もし入ってる、入ってないにしても、ちょっと今後しっかりと目を光らせて御指導いただければというふうに思います。よろしくお願ひします。

【甲斐田議長】 よろしいですか。

それでは長時間にわたり協力していただきましてありがとうございました。

本日の区政会議の議事は以上でございます。いろいろな貴重な御意見賜りましてありがとうございました。

それでは事務局にマイクをお返しいたします。

【森田保健福祉課子育て・教育支援担当課長代理】 甲斐田議長、どうもありがとうございました。委員の皆様も御協力いただきましてありがとうございました。

それでは、最後なんですけども、連絡事項を何点か申し上げたいと思います。

まず今回の議事録についてなんですかれども、おおむね30日後をめどに区のホームページに掲載させていただきまして、公開させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

また、本日、発言できなかつたことですか、御意見、御質問等がありましたら、資料のほうにお配りしておる意見票のほうに御記入をいただいて、6月23日金曜日までに子育て支援担当までお送りいただければと思ひますので、お願ひしたいと思います。

また次回の区政会議、第2回の教育部会なんですかれども、先ほど申し上げましたとおり7月4日の日に開催する予定でございます。お手元に案内のほうを配付しておりますので御確認いただけたらと思います。

なお7月4日の第2回の出欠につきましては、意見票と同じく6月23日の金曜日までに事務局の総務課まで御連絡いただけたらと思います。

御案内の裏面のほうが出欠確認票となっておりますので、お願ひしたいと思います。もし本日でも御予定の分かられるということでしたら、本日、事務局の総務課の方がいらっしゃいますので、そちらのほうまでお渡しいただけたらと思いますので、お願ひしたいと思います。

続きまして、第2回の教育部会の後に区政会議の本会議ということで、全体の会のほうを開催させていただく予定なんですかれども、9月に開催させていただく予定でございます。そちらの御案内につきましては、改めてお送りさせていただきますので、またご予定を調整いただきまして、御出席賜りますようにお願いしたいと思います。

それでは以上をもちまして、本日の区政会議の教育部会を終了させていただきます。

皆様、長時間にわたりまして御協力いただきまして、どうもありがとうございました。